



## TOTO

## ウォシュレット® 一体形便器 施工説明書

「ウォシュレット」は  
TOTO株式会社の登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

## 必ず実施

便器洗浄水量の  
設定

便器洗浄ボタンを押すと自動で便器洗浄水量を設定します。

→裏面「**① 試運転**」**② 便器洗浄水量の設定**」を参照

## 施工業者様へ

## 試運転を実施してください。

## 確認① 自治体によって洗浄水量の規制がある場合

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6L (eco小洗浄3.4L)仕様を「大洗浄6L、小洗浄5L (eco小洗浄4L)」または「大洗浄8L、小洗浄6L (eco小洗浄5L)」に変更することができます。

→裏面「**① 洗浄水量の切り替え**」参照

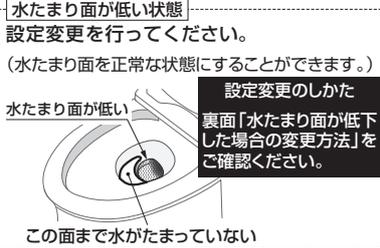
水たまり面が低下した場合の変更方法の設定をしている場合は、解除(元の仕様に戻す)してから「**① 洗浄水量の切り替え**」の設定をしてください。

また、確認①の設定をしている場合は、確認②の設定は不要です。

## 確認② 確認①で設定変更してない場合

大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。

※「自治体によって洗浄水量の規制がある場合」の設定をしている場合は、この設定は不要です。



〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水をたし、水たまり面が上昇しない場合は正常です。  
※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

## ガイドプレートありの場合

●従来のものと  
ウォシュレット本体の  
仮置き状態が異なります。



ガイドプレート  
施工時に  
手が触れたり  
しないよう  
ご注意ください。

ウォシュレット本体を  
便器に置いたとき、  
すき間がありますが  
問題ありません。

## 同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。 ※リモコンは機種によって異なります。

## リモコン部品

※リモコンはいずれかが同梱されています。



干電池 (単3形×2本) ねじ (3本) アンカープラグ (3本)

## 止水栓

(フィルター付)



※必ず同梱の止水栓を  
取り付けてください。

## 取付ボルト組品



## ロータンク

パッキン



## 印刷物



## 取り付け前のご注意

- 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
  - 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
  - ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
  - 交流100V(50/60Hz)の埋込アースターミナル付コンセント(3Pプラグの場合は、接地コンセント)を使用してください。  
(電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体背面のラベルに記載しています。)
  - 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
  - 電源コードの長さはウォシュレット：約1.0m、ヒーター付便器：約1.1mです。  
コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
  - 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲で  
ご使用ください。給水圧が低いとタンクに水がたまる時間が長くなる場合があります。
  - 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
  - 同梱以外の止水栓を使わないでください。
  - 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、  
製品には問題ありません。

## 給水ホースの長さが足りない場合

給水ホースの長さは約535mmです。  
もし給水ホースの長さが足りない場合は、  
右図の給水ホースをご購入ください。

## 給水ホース長さ違い一覧表

給水ホース長さ(mm)	品番
785	TCA472

●仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

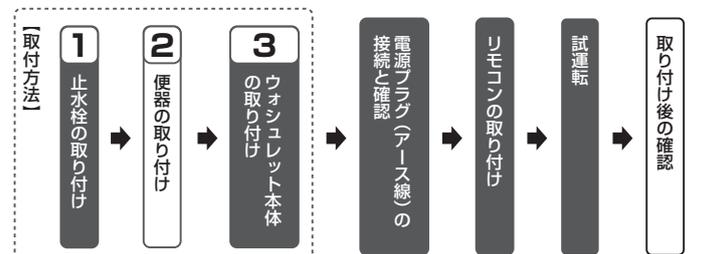
禁表示の例 〇 してはいけない「禁止」の内容です。 〇 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
〇	●浴室など湿気が多い場所には設置しない (火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
〇	●指定する電源(交流100V)以外では使用しない (火災や発熱の原因になります。)
〇	●電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない (火災や感電の原因になります。)
〇	●水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない (故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
〇	●コンセントは給水位置の真下に設置しない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
〇	●給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
〇	●車輻・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、ショート、故障などの原因になります。) (便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
〇	●電源プラグは根元まで確実に差し込む (電源プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱、ショートの原因になります。)
〇	<2Pプラグの場合> ●アース(D種接地)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
〇	<3Pプラグの場合> ●必ず接地コンセントに差し込む (変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。)

注意	傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
〇	●便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
〇	●給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない (水漏れの原因になります。)
〇	●止水栓を開けたままで給水フィルター、給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)
〇	●施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けしないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
〇	●給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)
〇	●電池の+-表示をよく確かめて入れる (電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
〇	●長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく (電池の液漏れの原因になります。)
〇	●ナット(固定用)(4カ所)を確実に締める (ナット(固定用)がしっかりと締まると、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。)

## 施工手順 この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。

(○は便器、●は本紙の施工説明書を参照ください。)



# 取付方法

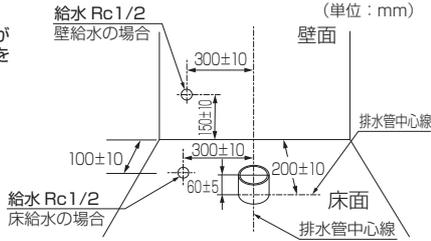
## 1 止水栓の取り付け

### ① 給水金具と排水管の位置を決める

※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

#### リモデルのときは...

便器の施工説明書の取付範囲を確認してください。



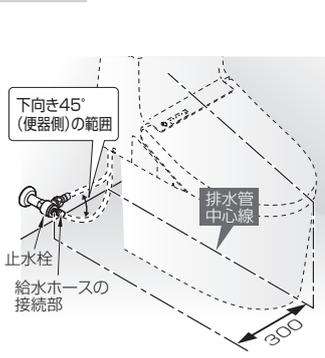
### ② 止水栓を取り付ける

**注意**  
必ず同梱の止水栓（フィルター付）を取り付けてください。

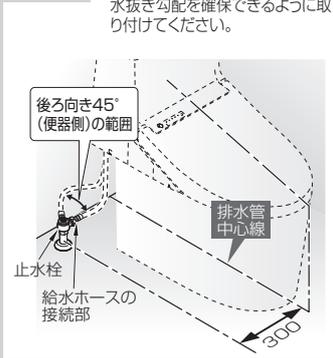


給水ホースがきちんとおさまるように下図の範囲で給水ホース接続部を折れ曲がらないように取り付けてください。

#### 壁給水



#### 床給水



※水抜方式の場合は、給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けてください。

## 2 便器の取り付け

便器部の施工説明書に従い、便器を取り付ける

## 3 ウォシュレット本体の取り付け

### ① ウォシュレット本体底面にロータンクパッキンを取り付ける

奥まで確実に入れる正しく取り付けしないと水漏れの原因になります。

### ② ウォシュレット本体底面に取付ボルト（4本）を取り付ける

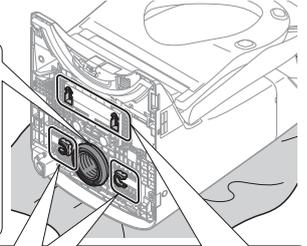


### ③ ウォシュレット本体を便器に仮置きする

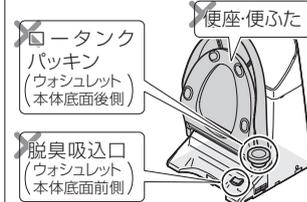
ロータンクパッキンが取り付けられているか確認



※ガイドプレートがはずれた場合  
→ 裏面 ガイドプレートの取付方法 参照



**注意**  
●パッキンおよび給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。ゴミを取り除かなかつたり、ウォシュレット本体をななめにおろすとパッキンがめくれたり、水漏れの原因になります。  
●ウォシュレット本体を持ち上げるときは、下図の場所を持つと、便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。

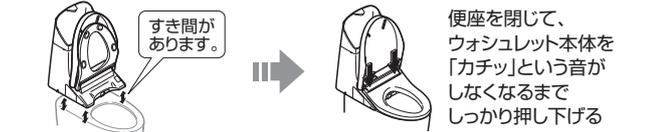


# 取付方法

## 3 ウォシュレット本体の取り付け（つづき）

●ガイドプレートなしの場合 → 下記手順④へ

●ガイドプレートありの場合



ウォシュレット本体を取りはずすとき



### ④ ナット（固定用）（4カ所）でウォシュレット本体を固定する

※後側2カ所を先に固定してください。その後、便座の位置を合わせて前側2カ所を固定してください。

●ナット（固定用）を手締めで回らなくなるまでかたく締め付ける

**注意**  
ナット（固定用）を締め付けるときは必ず手で行ってください。工具を使用すると破損の原因になります。



#### 確認!

※1 再度、確実に締まっていることを確認してください。  
※2 ウォシュレット本体のガタつきがないことを確認してください。

### ⑤ 保護キャップを取りはずし、止水栓に給水ホースの袋ナットを締め付ける

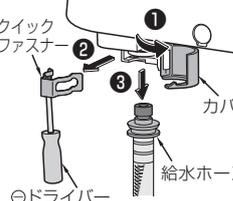


リモデル現場などで、止水栓の位置が異なる場合は製品に取り付けている給水ホースでは長さが合わないことがあります。別途、給水ホースをご購入ください。（表紙 給水ホースの長さが足りない場合 参照）

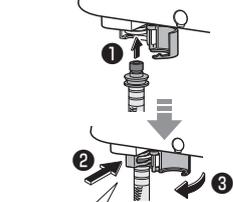
#### 長さ違いの給水ホースを取り付ける場合



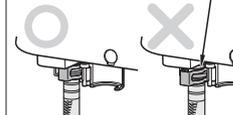
### ① 給水ホースを取りはずす



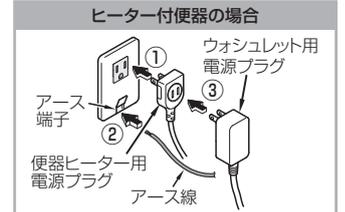
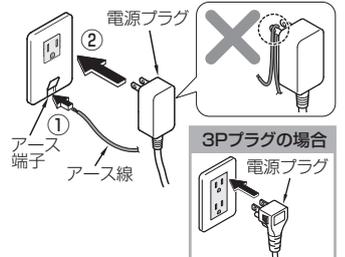
### ② 給水ホースを取り付ける



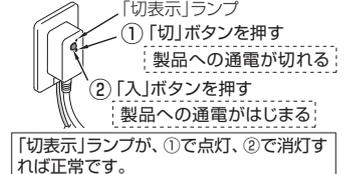
**注意**  
※すき間なく、奥まで差し込む



## 電源プラグ（アース線）の接続と確認



●ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する  
●電源プラグの作動確認をする

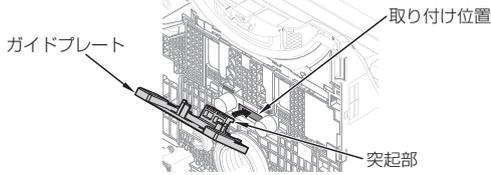


「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

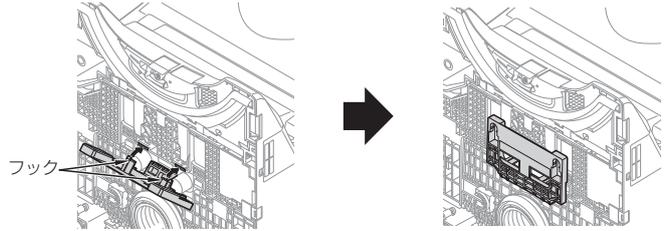


## ガイドプレートの取付方法

① ガイドプレートの突起部を取り付け位置にかける



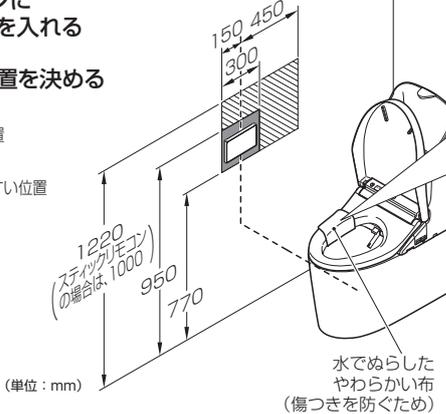
② ウォシュレット本体底面側に押し、フック（2カ所）をはめる



## リモコンの取り付け

① リモコンに乾電池を入れる

② 取付位置を決める



【作動の確認】

① 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



② 「おしり」ボタンを押してノズルが伸出することを確認する

③ 「止」ボタンを押す

④ 作動しない場合

→ リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認

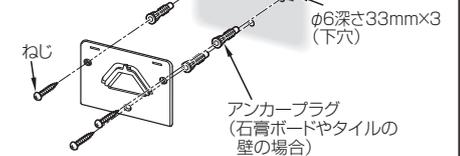
※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。

- 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
- 天井や壁の色（黒っぽい場合）・形状・材質などの条件が合わないとき
- 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
- インバーター方式の照明下のとき

③ リモコンハンガーの取り付け

① リモコンハンガーを壁に取り付ける

② セットする



## 試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

● 試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。  
(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

① ウォシュレット本体の確認

□ 水漏れチェック



□ 水漏れチェック



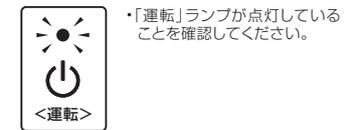
※ 付属の開閉工具を使用してください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。

※ タンク給水中「ヒュー」という音がする場合は、給水圧が高くなっていますので、音が鳴らなくなるまで止水栓を少し右へ回してください。

※ 万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



ウォシュレット本体表示部



・「運転」ランプが点灯していることを確認してください。

□ 運転ランプが点滅していませんか  
→ 凍結防止が「入」に設定されています。

※ 仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。

● 凍結防止を「入」にすると、次のように作動します。

運転ランプが点滅：緑色

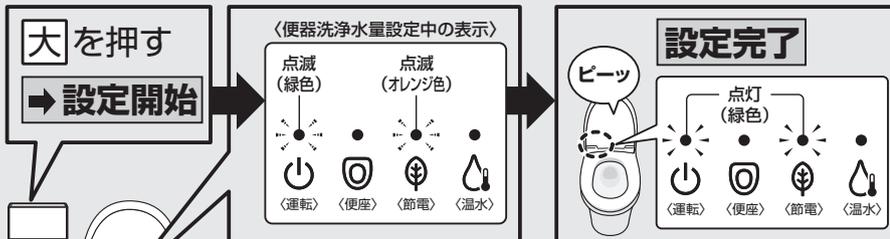


約5分間隔で  
便器洗浄



② 便器洗浄水量の設定

■ 本製品は、最初の便器洗浄時に自動で使用環境の水圧条件を計測し、便器洗浄水量を設定します。



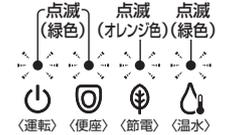
設定中は…

- お風呂やキッチンなどの水を使用しない (お客様にもお伝えください。)
- すべてのボタンを押さない
- 止水栓を開閉しない

正しく洗浄水量の設定ができない原因になります。

次のような場合は、正しく設定できておりません。(一定時間で通常の表示に戻ります。)

- ・ 製品からの電子音「ピーッ、ピーッ」
- ・ 本体表示部点滅



一度設定を解除してから、もう一度、設定しなおしてください。解除方法は下記をご確認ください。

設定解除方法

シンプルリモコンの場合

- ① 止を10秒以上押す  
● リモコンのランプが全点滅します。
- ② 大と小を同時に押す  
● 「ピーッ」という電子音が鳴ります。
- ③ 止を押す → ④ 大を押す

スティックリモコンの場合

- リモコン裏面のボタンで操作します。
- ① 止を10秒以上押す  
● 「施工者モード」画面が表示されます。
  - ② 大で「便器圧損学習リセット」を選び、大を押す  
● 「ピーッ」という電子音が鳴ります。
  - ③ 止を押す → ④ 大を押す

自動で3回または6回連続で便器洗浄し、完了するまで最大約5分かかります。

# 試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

## 3 機能の確認

- 便器洗浄時にウォシュレット本体底面から水漏れなどの異常がないかを確認しましたか
- 自治体による洗浄水量の規制に合った水量設定を行いましたか

□ 水たまり面が低下していませんか  
大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。  
※「自治体によって洗浄水量の規制がある場合」の設定をしている場合は、この設定は不要です。

設定変更は不要です。



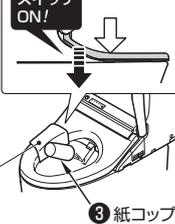
設定変更を行ってください。



- ノズルから温水が出ますか  
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)

- 4 「おしり」ボタンを押す
- 5 「止」ボタンを押す

- 2 着座スイッチ「入」(手などで押さえる)



- 1 水でぬらしたやわらかい布(傷つきを防ぐため)
- 3 紙コップ

- リモコンで便ふたがきちんと開きますか(オートふた開閉付のみ)  
※3回続けて開いた位置を記憶します。

便ふたが途中で止まるようになった場合

- 障害物を取り除く
- 電源プラグをはずし、5秒後に差し込む
- リモコンの「便ふた開閉」ボタンを押す

## 洗浄水量の切り替え (自治体によって洗浄水量の規制がある場合)

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6L(eco小洗浄3.4L)仕様を下記水量に変更することができます。

### シンプルリモコンの場合

### スティックリモコンの場合

大洗浄 6L、小洗浄 5L (eco小洗浄 4L) にするとき	大洗浄 8L、小洗浄 6L (eco小洗浄 5L) にするとき
<p>1 止 を10秒以上押す ●リモコンのランプが全点滅します。</p> <p>水勢 ② + と 漏水 を同時に押す</p> <p>ノズルそうじ ② 入切 と 漏水 を同時に押す</p> <p>「ピッ」という電子音が鳴ります。</p> <p>3 止 を押す*1</p>	<p>リモコン裏面のボタンで操作します。</p> <p>1 止 を10秒以上押す ●「施工者モード」画面が表示されます。</p> <p>2 上下で「便器洗浄水量切替」を選び 右 を押す</p> <p>3 上下で「便器洗浄水量切替②」を選び 右 を押す</p> <p>「ピッ」という電子音が鳴ります。</p> <p>4 止 を押す*1</p>

(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

※1 変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面の高さを戻すために水を補給します。

## 水たまり面が低下した場合の変更方法

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6L(eco小洗浄3.4L)の洗浄水量は変わりません。

### シンプルリモコンの場合

### スティックリモコンの場合

<p>1 止 を10秒以上押す ●リモコンのランプが全点滅します。</p> <p>水勢 ② - と 漏水 を同時に押す</p> <p>「ピッ」という電子音が鳴ります。</p> <p>3 止 を押す*1</p> <p>(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)</p>	<p>リモコン裏面のボタンで操作します。</p> <p>1 止 を10秒以上押す ●「施工者モード」画面が表示されます。</p> <p>2 上下で「便器洗浄水量切替」を選び 右 を押す</p> <p>3 上下で「便器洗浄水量切替①」を選び 右 を押す</p> <p>「ピッ」という電子音が鳴ります。</p> <p>4 止 を押す*1</p> <p>(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ピッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除 (試運転後)

【便器側】	【ウォシュレット側】
<p>1 電源プラグを抜く</p> <p>2 ノズルを伸ばさせる ※給水管内の圧抜きです。 シンプルリモコンの場合 ノズルそうじ 入切 を押す スティックリモコンの場合 リモコン裏面のボタンで操作します。 1 MENU/RETURN を押す 2 上下で「お手入れ」を選び 右 を押す 3 上下で「ノズルそうじ開始/停止」を選び 右 を押す</p> <p>3 給水フィルターを分解し、歯ブラシなどで掃除する</p> <p>4 給水フィルターを元の位置に戻す</p>	<p>1 カバーを開く</p> <p>2 ノズルを伸ばさせる ※給水管内の圧抜きです。 シンプルリモコンの場合 ノズルそうじ 入切 を押す スティックリモコンの場合 リモコン裏面のボタンで操作します。 1 MENU/RETURN を押す 2 上下で「お手入れ」を選び 右 を押す 3 上下で「ノズルそうじ開始/停止」を選び 右 を押す</p> <p>3 給水フィルター付水抜栓を分解し、ドライバーやそうざんなどで掃除する</p> <p>4 給水フィルター付水抜栓を元の位置に戻す</p>

## 製品引き渡しまでの期間が長い場合 ※必ず水抜きをしてください。(故障の原因)

- 流動方式のとき  
止水栓または元栓を開める  
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき  
水抜き栓を操作して、給水を止める  
お願い 止水栓は開けたままにしておいてください。
- タンクの水を抜く  
リモコンの「大洗浄」ボタンを押す
- 配管の水を抜く  
(給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除(試運転後))  
【ウォシュレット側】1-2③④⑤⑦項参照  
※電源プラグは抜いたままにしておいてください。
- 水抜きプラグを空回りするまでゆるめる  
●ノズル付近から水が出る(水がすべて抜けるまで約3分かかります。)  
※水抜きプラグは取りはずしてできません。  
(給水フィルター付水抜栓)  
水抜きプラグを左にまわす  
ドライバー
- 水抜きプラグをマイナスドライバーで確実に締め、カバーを取り付ける  
水が出なくなるまで待つ  
右にまわす  
カバー

■凍結のおそれがあるときは  
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。  
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)

## 施工業者様へ

●取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。

●ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。  
新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。